

## 目標（9）

# 安全・安心が実感できる 地域づくりを進めます



▲総合防災訓練（モデル地区：吉浜小学校区）

### I. 目指す姿【PLAN】

目標達成に向けての考え方	近い将来に発生が予測される大震災に加え、集中豪雨・台風・火災などの災害、身近に起きる犯罪・交通事故から生命を守り、被害を最小限に食い止めるため、市民・地域・事業者・関係機関・行政がそれぞれの役割を果たしつつ、地域ぐるみで安全・安心に暮らせる環境を築いていきます。
目標が達成された姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 市民一人ひとりの防犯や防災に対する意識が高まっています。</li> <li>◇ 「自助」「共助」「公助」を基本とした防災・減災対策、防犯・交通安全対策など、安全・安心を守る活動が地域ぐるみで行われています。</li> <li>◇ 誰もが安全で安心だと感じながら暮らしています。</li> </ul>

### II. 目標達成のための主な取組み【DO】

こんなことに取り組みます！	何を・どうした	いつ
(1) 市民・地域・事業者・関係機関と連携した総合的・機動的な防災体制を構築し、減災対策や実践を想定した取組みを強化します。	①防災ネットきずこう会や市総合防災訓練を開催し、地域防災ネットワークの構築を進めた。	H26.6～
	②雨水管整備工事を実施した。 [ 八反田第一排水区(向山町五丁目地内) ]	H26.7～ H27.1
	③町内会に、防災資機材（救助工作セット、リアカー等）を配布した。	H27.1
(2) 防災教育や防犯講話などを通じて、「自らの安全は自ら守る（自助）」、「地域の安全は地域で守る（共助）」という意識を高める取組みを強化します。	①子どもを含んだ防災教育の推進を図った。	H26.7～
	②愛知県が公表した最新の被害想定を踏まえ、東海地震・東南海地震・南海地震被害予測調査説明会を開催した。	H26.11
	③警察署と連携し、防犯講話、防犯教室を開催した。	随時
(3) 「高浜市みんなで犯罪のないまちにしよう条例」をふまえて、地域・警察・関係機関と連携し、事件・事故の未然防止活動を推進します。	①地域等との協働により、防犯活動、青色回転灯車による防犯パトロール、夜間パトロール、深夜パトロールを実施した。	H26.4～ H27.3
	②防犯灯などの防犯施設の維持・管理を実施した。	H26.4～ H27.3
	③防犯ネットワーク会議の設置に向けて、自主防犯活動に取り組んでいる団体（まちづくり協議会、町内会、市民団体、事業者等）に参加を呼び掛けた。	H27.2～3
(4) 市民一人ひとり、特に高齢者や子どもの交通事故防止に向けた取組みを進めます。	①交通安全活動、一斉大監視活動、街頭啓発活動などを実施した。	H26.4～ H27.3
	②高齢者と子どもに対する交通安全教室を行った。	H26.4～ H27.3
	③民生委員へ高齢者宅訪問時に交通安全を依頼、交通安全教室を開催した。	随時

### Ⅲ. 目標の達成状況と結果分析【CHECK】

#### 1. 市民意識調査結果

【設問】安全・安心が実感できる防災・防犯対策が進められているまちだと思う

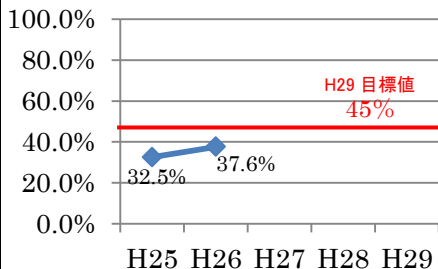
現状値 (H25)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	動向
56.3%	55.5%				↘

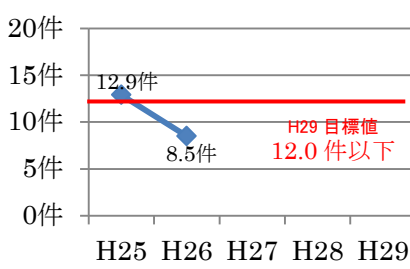
性別	年齢別	N	割合 (%)				動向	
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない		
男性	10歳代	9	11.1	77.8	11.1	2.9	55.5	
	20歳代	51	3.7	44.4	40.7	9.9	1.2	48.1
女性	30歳代	142	7.0	52.1	30.3	10.6	2.5	58.3
	40歳代	162	4.3	49.4	31.5	13.6	1.2	53.7
	50歳代	160	7.5	41.9	37.5	10.6	2.5	49.4
	60歳代	149	6.7	47.0	38.3	5.4	2.7	53.7
	70歳以上	161	12.4	50.9	26.1	7.5	3.1	63.3

#### 2. 「みんなで目指すまちづくり指標」の状況

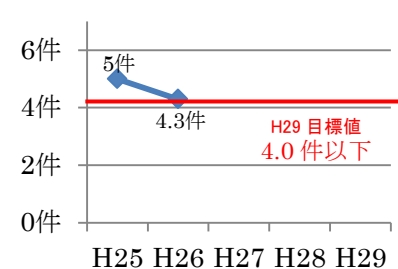
1) 自分自身が災害（地震や風水害など）への備えができていると思う人の割合



2) 人口 1,000 人あたり 犯罪発生件数



3) 人口 1,000 人あたり 交通事故発生件数



#### 3. 「市民意識調査」「みんなで目指すまちづくり指標」結果に対する分析（要因・課題等）

- ・指標 1) は、策定時と比べて 5.1% の増加となっている。これは、東日本大震災や台風、土砂災害等の自然災害を踏まえ、自助として、災害への対応が進んできているものと考えられる。今後も、自然災害に対する自助の重要性を周知していきたい。
- ・指標 2) は、策定時と比べて 4.4 件減少した。これは、町内会、まちづくり協議会などの積極的な防犯活動によるものと考えられる。今後も、町内会、まちづくり協議会などと協力し、防犯活動を展開していきたい。
- ・指標 3) は、策定時と比べて 0.7 件減少した。これは、高浜市交通安全協会や碧南警察署などの交通事故抑止活動が功を奏したと思われる。今後も、1 件でも交通事故が減少するよう関係者と協力していきたい。
- ・指標がいずれも順調に伸びているにもかかわらず、「市民意識調査」結果は、策定時と比べ 0.8% 低下している。これまで、地域・警察・関係機関と連携し、「自助」「共助」「公助」を基本とした防災・防犯対策に取り組んできたが、今後は、より活動内容やその効果を市民の皆さんに見える形で展開する必要がある。

#### IV. 課題と今後の取組み【ACTION】

課題	課題解決に向けた新たな取組み（案）	見直し・改善（案）
<b>（１）「自助」「共助」による防災・減災力の強化</b> ・災害時（地震や風水害など）に備え、これまで以上に「自助」「共助」による防災・減災力を強化する必要がある。	・「自助」の強化として、市総合防災訓練や地域の防災訓練、防災講演会への参加、高浜市地震防災マップ（わが家の防災メモ）を活用する。	継続
	・「共助」の強化として、新たに「防災リーダー養成」を開催する。	新規
	・地域（町内会）と協働しながら「地域行動計画」や「職員行動計画」などを策定する。	新規
	・両計画とも策定にあたっては、名古屋大学減災連携研究センターからアドバイスをいただきながら進めていく。	新規
<b>（２）犯罪発生件数の減少対策の強化</b> ・高浜市防犯ネットワーク会議、町内会、まちづくり協議会、碧南警察署等が連携し、防犯対策を進めているが、さらなる犯罪発生件数の減少に向けた取組みが必要である。	・これまでの防犯対策である青色防犯灯パトロールや夜間パトロールを継続するとともに、犯罪の発生が比較的多い市内3駅に、新たに「防犯カメラ」を設置し、犯罪発生を抑止効果を高める。	拡充・強化
<b>（３）高齢者を含めた交通安全対策の強化</b> ・増加する高齢者の交通事故を減少させるため、地域・警察・関係機関と連携し、交通安全対策を進めているが、高齢者を含めたさらなる交通事故発生件数の減少に向けた取組みが必要である。	・これまでの交通安全対策である保育園、幼稚園、小・中学校、いきいきクラブ、企業などを対象とした交通安全教室や道路交通法の改正情報（自転車運転者講習制度など）の周知を継続するとともに、高齢者を対象とした交通安全対策の調査・検討を行う。	継続

#### V. 第6次高浜市総合計画推進会議による点検・確認結果【CHECK】

Ⅱ. 目標達成のための主な取組み【DO】に関して

### Ⅲ. 目標の達成状況と結果分析【CHECK】に関して

- 「市民意識調査」や「みんなで目指すまちづくり指標」の結果には、小学校区の特長も少なからず表れていたのではないかとされる。小学校区の特長も考慮した分析が必要である。

### Ⅳ. 課題と今後の取組み【ACTION】に関して

- 「自助」の意識を高めるための取組みとして、「わが家の防災マップづくり」のような「地震防災マップを活用し、家庭・個人の行動につなげる」取組みを計画していただきたい。行政が作成した「地震防災マップ」は市全域のもので非常に良いが、単に配布するだけでは、市民の防災意識の高揚にはつながらない。実際に自分の足でまちを歩き、危険箇所などを確認するという気づきが必要である。災害時には行政だけではできないことも多いため、自分のことは自分で守るという意識がやはり最も大切なことである。
- 「地域行動計画」の策定について、福祉部が取り組んでいる「避難行動要支援者」の情報とうまくリンクさせ、実際に災害が起こった時を想定した、より具体的な計画とすることを強く望む。
- 昨今、自転車に対する取り締まりも厳しくなっている。自転車を使用する中学生も多いため、中学生を対象とした交通安全教室も実施していただきたい。

### その他、目標の達成に向けて

- 「防災・減災対策」は、行政として最も重点的に取り組んでいくべき事柄の1つである。多岐の分野にわたって対策が必要であるため、庁内で連携を密に取りながら対策を講じていただきたい。